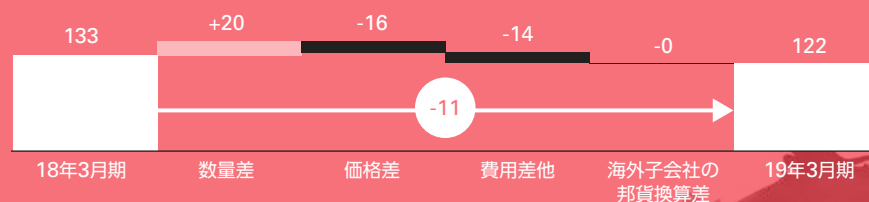


環境・
エンジニアリング売上高
2,577 億円営業利益
122 億円営業利益率
4.7 %ROA
(営業利益／総資産)
4.6 %

	2017	2018	増減率	2019(見通し)
売上高(億円)	2,383	2,577	+8.1%	2,700
営業利益(億円)	133	122	-7.9%	140
営業利益率	5.6%	4.7%		

営業利益増減(億円)



基本方針

- 水処理膜と設備設計力を軸に環境・エネルギー分野で事業拡大

収益機会とリスク

- 地球環境問題や資源・エネルギー問題の解決に貢献する先端素材とそれらを製造する機械・設備に対するニーズの高まり
- 水不足地域の政情不安
- 原油価格動向
- 顧客における設備投資の動向

中期経営課題“AP-G 2019”達成に向けた事業戦略

■水処理事業

- 膜事業の競争力強化、事業拡大
- RO膜の製品開発推進、コスト競争力強化
- UF膜の中国、米国での拡販
- 水処理システム・プラント事業の基盤強化

■エンジニアリング事業

- プラント事業、産業機器の拡大(環境エネルギー分野、ライフサイエンス分野)
- 成長領域における外部資源の活用
- コスト競争力強化
- 海外展開の加速

2019年度見通し

- 水処理事業は、グローバルで需要が拡大するRO膜をはじめとした膜ビジネスの拡販を図る

中国で飲料水の処理設備製造・販売会社を設立

1980年代から中国市場での水処理膜ビジネスを展開してきた東レは、オリックス(株)、中国水務集团有限公司と、中国で飲料水の処理設備を製造・販売する合併会社「江西銀麗直飲水設備有限公司(江西銀麗)」を2019年3月に設立しました。

オリックスは、1981年に中国における初のリース会社を設立以降、中国で金融サービスや投資事業を展開してきました。

中国水務は、中国の地方都市において上下水道施設の運営・管理を行うほか、インフラ整備を含む周辺業務を手掛ける総合水処理事業会社で、香港証券取引所に上場しています。

中国では近年、蛇口から直接飲める水需要が高まっています。そこで3社は戦略提携協議書を締結し、江西銀麗を通じて、飲料水処理設備に東レの膜ろ過技術を導入し、水道から直接飲用に適した水を供給する設備を製造・販売します。

また、中国政府からライセンスを得たうえで、中国水務の中国国内における水事業ノウハウやネットワークを活かし、学校や病院などの公共施設、ホテル、オフィスビル、マンションなどへの設備導入を目指します。

02

エアフィルター事業の拡大に向け韓国で合併会社を設立

東レは、浄水器・空気清浄機等の販売事業を行うチャンホナイスグループ傘下のMCM社との合併会社「M&T Engineering Co., Ltd.」(M&TE社)を韓国に設立し、2018年10月より稼働を開始しました。資本金は60億KRW(約6億円)、出資比率はMCMが60%、東レが40%です。M&TE社においては、MCMの組立加工技術・自動化ノウハウと、東レの有する繊維・ろ材からユニットまでの一貫設計と開発技術との融合により、韓国市場での事業拡大及び韓国グローバルメーカーへの供給に必要な高性能フィルターの現地生産体制を構築します。チャンホナイスグループは、韓国浄水器市場で高シェアを獲得しており、主要販売先は韓国グローバルプレーヤーの他、約60カ国へ輸出するなど、広く事業展開しています。

東レは、これまで中国の繊維製造拠点である東麗合成繊維(南通)有限公司(TFNL)において、2012年よりエアフィルター用不織布の生産を開始し、深刻な社会問題となっている大気汚染対策に貢献すべく、中国GB規格*に適應したフィルターの現地生産供給体制を構築してきました。新会社M&TE社は、TFNL製の高性能なエアフィルター用不織布を使用したフィルターの組み立てを韓国で行うことで、大手家電メーカー、自動車メーカーへの直接参入を通じ、韓国及び世界への展開を加速させます。

*中国GB規格: 空気清浄機の初期性能・性能寿命に関する中国国家標準規格。